

対象疾患	レジメン名
大腸癌	FOLFOX4 + Bev 療法

使用抗がん剤

No.	抗がん剤名	投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	アバスチン注	5～10mg/kg	DIV	90分	d1
2	エルプラット注	85mg/m ²	DIV	120分	d1
3	5-FU注	400mg/m ²	DIV	15分	d1、d2
4	5-FU注	600mg/m ²	DIV	44時間	d1、d2
5					
投与間隔(1コース期間): 2週間					
コース間での休薬期間: 12日					
総コース数: 効果が認められる間(術後補助化学療法では12コースまで)					
特記事項: レボホリナート注 100mg/m ² Rp.7の生食投与量は5-FUと合わせて全量110mL Rp.1→2→3→4→5→6+7→8→9(半分量)→7→8→9(残の半分量)					

プロトコール

Rp.	薬剤名	投与量	コメント
Rp.1	生食 (ルートキープ)	100mL	
Rp.2	アロキシ静注バッグ(0.75) デカドロン注(3.3)	1キット 2A	15分
Rp.3	生食(100) 硫酸Mg補正液(20) カルチコール(5)	100mL 1A 2A	30分
Rp.4	デカドロン注(3.3)	1A	ワンショット
Rp.5	アバスチン注 生食(100)	上記投与量 100mL	90分 (インフュージョンリアクションがなければ、2 コース目は60分、3コース目以降は30分)
Rp.6	エルプラット注 5%Glu(250)	上記投与量 250mL	120分(Rp.7と同時投与)
Rp.7	レボホリナート注 5%Glu(250)	上記投与量 250mL	120分(Rp.6と同時投与)
Rp.8	5-FU注 生食(50)	上記投与量 50mL	急速静注 15分
Rp.9	5-FU注 生食	上記投与量 全量100mL	22時間(2.5mL/h)で一時的中止後、 再度22時間で残量投与 5-FUと生食で全量110mL